



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti



岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

党ができて9年間、弱い者、困っている人の味方一直線の共産党。

困ったことは小沢、岡本のなんでも相談へ

- ① 9月議会 岡本和枝の一般質問と市の答弁 ②密かに進められる 30 億円裾野駅橋上化
③安倍消費税増税でアベノミクスはアベノモクスに ④こことこ ⑤その他いろいろ

9月議会 岡本和枝の 一般質問と市の答弁です

1. 駅西土地区画整理事業は



区域の縮小を (岡本和枝の質問)

駅西区域、計画縮小すべきではありませんか。人中心のまちづくりになっているとは思えません。例えば、5 m歩道はバリアフリーでしょうか？ 交通安全講習会で、コンビニができたなら信号のない交差点ができたのと同じと教わりました。この見方から言うと、日ノ出町の県道の南から、車の出入りの多い、ローソン、丸亀製麺、コメダ珈琲と続き、信号のない交差点が三つ出現していると言うことです。これで5 m歩道を歩く人は安全でしょうか。

(もともと、現実には歩道を歩いている人は非常に少ないようですが……)

私は、駅西事業の様々な問題点を 15 年間指摘し続けてきました。全国で続出

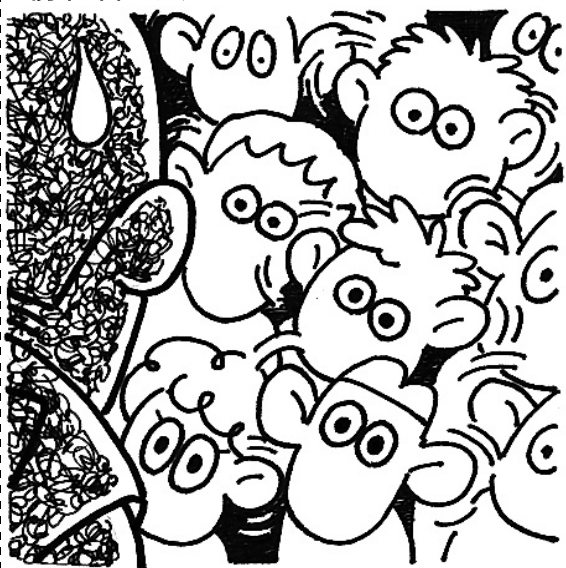
している区画整理破綻の実例を挙げました。ところが、ある部長は答弁で、「ほかのところが失敗しても裾野は成功する」と言い放ちました。「聞く耳持たぬ」、の姿勢の結果が現在の駅西事業の行き詰まりです。私は真剣に、現在でもあるさまざまな問題点を指摘しています。私の問題提議を頭から否定なさるなら、誰が聞いてもわかる根拠を議会に提示すべきではないでしょうか。前と同じ道を歩まないでいただきたいと思います。

H24 年度までの事業の仮換地指定全体の 19.7 %、工事進捗率はたったの 12.8 %です。財政豊かであった 10 年で 12.8 %の進捗率でした。しかし、財政に全く余裕がなくなったこれからはピッチが上がり、残り 87.2 %をあと 20 年で出来るという手品のような計画。ほかの施策にしわ寄せしても優先的に康事業なのか。市長も担当者の方々も、本当にこんな計画ができると保証されるのですか？

市の答弁 「駅西区画整理は健全な市街地、公共の福祉が目的であり、優れた都市空間を作り出す。これまでの経過を

見ると 17.6 haをこのままやっていくことは当然のこと。区域の縮小はない」

(傍聴者の人々の感想)



岡本議員の具体的な質問に対し市の答弁は全くの抽象的紋切り型。あんな答弁でいいの?」ほんとだね」ほんとほんと」

2. 通学路の交通安全の確保のために「整備実施計画」の策定を

昨年、通学路の緊急合同点検が行われ、種々の安全対策がとられました。「道路幅が狭い」、「歩道がない」、「川への転落危険がある」、「通学路脇の斜面が大雨や地震等の災害により土砂崩れの可能性あり」などの小学校区 34 カ所の危険箇所に対して、「実施済み」、「実施予定」、「検討の結果実施せず」、「条件づきの実施」、「検討中」などの対応結果になっています。注意喚起や路面標示、標識だけでなく、「歩行者と車両の分離」するための歩道整備が必要ではありませんか。

通学路整備事業費は 4 年前までは年 500 万円の予算が取られていましたが、財政縮減の中で、400 万円になり、360 万円になり、H25 年度には 342 万円です。

安全を削っているということではありませんか? 毎日、子どもたちが、歩く場所の整備は、最優先されるべき事業ではないでしょうか。

市の答弁 「整備計画を作っても実効性のあるものにならない。小幅な改良計画を進める」

3. 生活保護扶助基準引き下げの影響について

(紙面の都合により次号で報告します)

4. 「平和市長会議」への加盟を契機に「非核平和都市宣言」の仲間入りを

本年 5 月に裾野市長・裾野市は「平和市長会議」へ加盟されました。

市長は「平和市長会議」への加盟したことについてどのように感じて

おられますか。また、広報すそのなどでの公表はいつになるのでしょうか。平和市長会議に加盟されている自治体の多くが、原爆の悲惨を繰り返さないためにも、平和を願う立場からも「非核平和都市宣言」を行っています。裾野市では、日本国民としては当然の「非核・平和」の宣言の仲間入りをいつ行う考えでしょうか。

市長の答弁 (平和市長会議の意義を縷々述べた後)「都市が連帯して平和な世界を作ることに、地域住民の首長としても考えていく必要から加盟した。公表



は特に考えていない。研究してみる。『非核平和都市宣言』は調べるなどして検討していきたい」

来年1月までの大橋市長の任期中に、公表と宣言の制定を求めました。岡本)

米国でも、2013年6月、人口3万人以上の都市の市長が参加する「全米市長会議」は全世界の核兵器を廃止し、軍事費を国民の必要な分野に回すよう指導性を発揮するようオバマ大統領に求める決議をおこなっています。

見逃さない！

密かに進められている

30億円！裾野駅橋上化

お金がないと市民要望を抑制する一方で30億円を要する裾野駅橋上駅化と東西自由通路計画が密かに進められている



裾野駅は乗降客が一日当たり5千人以上ありますが、エレベータはなく身体に障がいのある人や高齢者の方々は階段の上り下りに苦勞しています。早期にエレベータの設置が望まれて居ますが未だに至っていません。その原因は裾野市が進めようとしている裾野駅の橋上駅化と東西を結ぶ自由通路建設計画があります。

裾野市は駅西区画整理事業の一環とし



て計画をしています。

ところがこの計画に30億円の費用が必要になることが明らかになる中で、市議会議員の多数が計画の中止を求めているのに、大橋市長は「止める」ことを言明していません。それどころかJR東海と裾野市の間でエレベータ設置を協議するなかで、橋上駅化と自由通路を前提に、エレベータの設置計画を進めているのではないかとされます。エレベータ設置は鉄道事業者が乗降客のサービス向上のために事業者自らがやるべきことで、それにともない国・県・裾野市から事業の補助金を受ける事に問題は有りませんが、裾野市の橋上駅化と自由通路の要望に応じて、JR東海がこれに必要な事業費を裾野市に出させ、裾野駅のバリアフリーを実現しようとの考えがあるならば、裾野市の財政事情を考慮すればとても受け入れられる計画ではありません。

東西を結ぶ道路は、裾野駅北側に踏み切りを横断して存在しています。自由通路を設けなければ東西の行き来に不便でしようがない状況はありません。市民から集めた税金は身近な市民要望実現のために優先して使うようにさせましょう。

(記：小澤良一)

cocopoco
ここぽこ



須山街道は待合所付きバス停の宝庫です。まず最初は石脇のバス停。黄瀬川のたもと、石脇公民館前にあります。きれいに掃除され、長座布団も敷かれています。

今回から待合所付きバス停は須山街道シリーズに入ります。

安倍首相が消費税増税8%決定！生活・商売は大困難時代へ突入。アベノミクスがアベノモクスとなる日

安倍首相が、国民の大反対のみならず身内の自民党内の反対論も押し切って、来年4月の消費税増税を決定しました。

大マスコミは、消費税増税賛成です。安倍首相が、読売(会長)・産経・朝日・共同・日経・フジ・テレ朝・毎日・朝日(政治部長)・日テレ等々を接待し続けた成果です(大新聞で入っていないのは東京新聞のみ)。朝日新聞は社主と政治部長。どっぷりです。

この接待費は税金(官房機密費)からではないですかね。

「庶民の苦しみ知らず 税金使って税金上げる根回し周到アベノ大法人守主税」(末路知らず)

それはそれとして、安倍首相の得意の手法「堂々とウソで押し通す」が、見事に消費税8%増税会見でも発揮されました。……「景気が良くなっている」。

誰の、どの景気ですか？

物価は上がるのに給料は上がらない、これで景気が良くなっている？……

うそでしょっ！

今年の参院選、消費税増税を隠し続けてひと言も言わず、小選挙区選挙の仕組みのおかげで30%未満の得票で小選挙区8割の議席を得た自民党。「国家を取った」とばかりに、何を勘違いしたか大暴走中。自分で都合のいい数字を造り、消費税増税決行へ突撃する安倍大元帥様というところ。

「福島汚染水放射能はブロックを保証」の堂々ウソ大演説でオリンピックを招致し(大得意)、オリンピック便乗の土木・建設事業で「バブルよ再び」と舞い上がっての消費税8%へ大增税決断。

消費税8%増税は、アベノミクスがアベノモクスになる日ですが、「決行」予定の来年4月までに早期達成でアベノモクスにして、消費税8%増税決行を、国民みんなで、「オガマイネグ(結構です必要ありません)」と中止させましょう。(友)

